



✓ Third party verified

Environmental Product Declaration

Conformance with

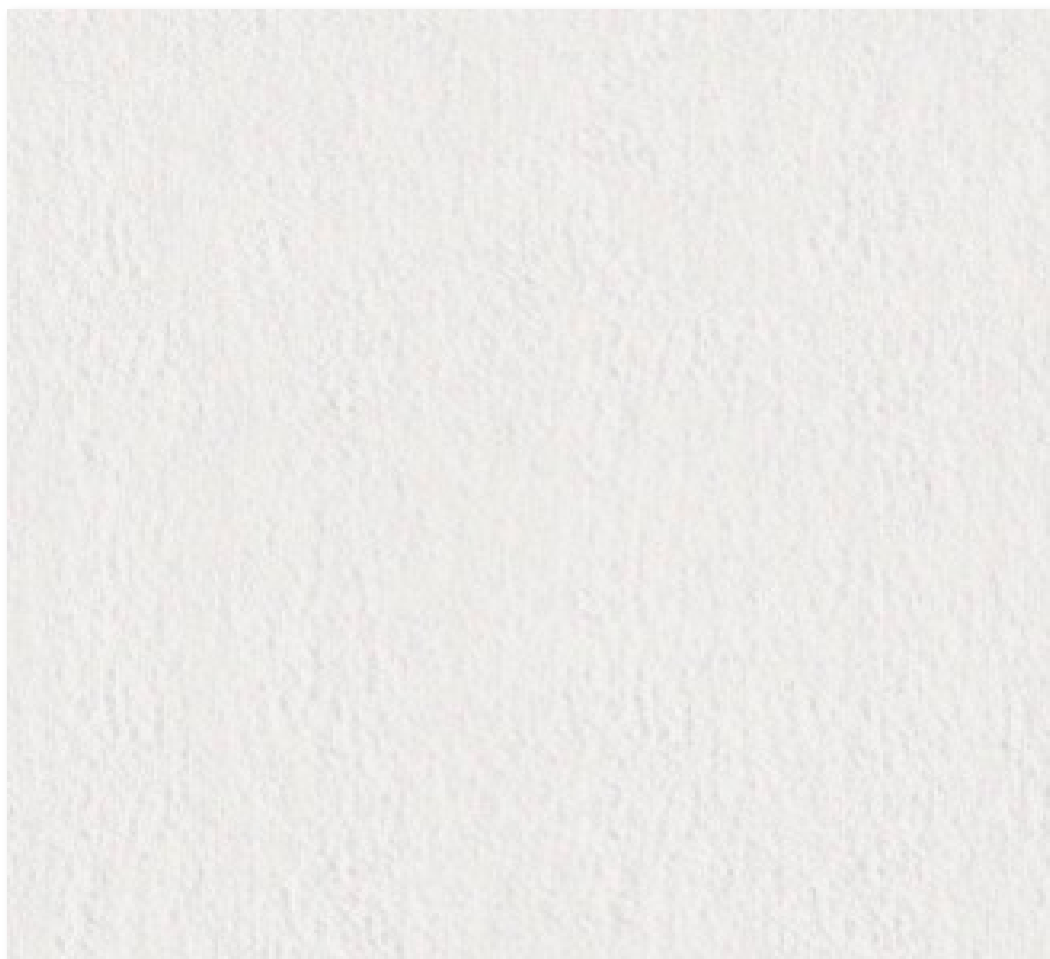
ISO14025

ISO14040

ISO14044

 **株式会社ナガイ**
NAGAI Co.,Ltd

エコフリース フラット ECOFREECE FLAT



登録番号	検証合格日	公開日	検証有効期間	EPDタイプ
SuMPO-EPD-2601-91-1	2026/1/26	2026/1/29	2031/1/25	グループ製品EPD
※更新された場合は初版公開日				
追加の準拠規格	EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。 EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。 https://ecoleaf-label.jp/epd/search			
ISO21930:2007				

●基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建材及び建設製品
PCR登録番号	PA-SuMPO-PCR-01000-2-0-1
PCR認定日	2025/3/31
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治（慶應義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築S D G s 推進センター 理事長）
PCR有効期限	2030/3/30
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	☐ 内部 ■ 検証員による ■ 第三者検証	☒ 外部 ☐ 検証機関による □ 第三者検証	☐ EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	南山 賢悟（ケイズビジネスファクトリー）		

> 準拠規格

準拠規格	☒ ISO14040:2006	☒ ISO14044:2006	☐ ISO14067:2018
	☒ ISO14025:2006	☒ ISO21930:2007	☐ ISO21930:2017
	☐ EN15804+A2	☐ EN50693:2019	☐ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	株式会社ナガイ・インテリア事業部（NAGAI Co.,Ltd・Interior Division）
住所	〒107-0062 東京都港区南青山2-9-3-3F
問い合わせ先	03-6434-9840
LCA算定実施者（所属）	山根 岳人（一般財団法人カケンテストセンター）
事業者概要	木製ドアや無垢フローリングなどの住宅建材の設計や製造、及び販売を行う。主な製品として、環境壁紙「エコフリース」ならびに接着剤不要のフローリング「G-LOC FLOORING PLUS」などがある。その他、スイッチや取手などのアンティーク金物やオーダードアなども取り扱っている。

●製品情報

製品名称		エコフリース フラット（ECOFREECE FLAT）		
製品の型式		F01～F11		
製品仕様	製品機能	室内の壁面や天井に貼付することで、意匠性・快適性・清潔性・保護性などを向上させる機能		
	製品質量	225.93 g	換算係数	225.93 g/㎡
	製品の用途	住宅および商業施設で使用		
	技術性能	－		
耐用年数	年数	6年		
	使用条件	住宅および商業施設		
	年数を設定した根拠	「壁〔クロス〕」における減価償却の考え方を適用した年数であり、耐久年数や保証期間を指すものではない。		
		出典：国土交通省「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」（再改訂版）＜参考資料＞		
製造サイト（製造拠点）		製造委託先工場B（岐阜県揖斐郡）		
製品概要		パルプ等を主原料としたフリース（不織布）に、水性塗料を工場塗装した壁紙（フラットタイプ）		
製品ウェブサイト		https://www.nagai.co.jp/ecofleece/		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
不織布	65.98	140.00 g
水性塗料（添加剤を含む）	33.93	72.00 g
付属品	0.09	0.19 g
包装材構成要素	割合 (%)	質量
段ボール	71.4	9.82 g
クラフト紙	7.1	0.98 g
テープ	2.5	0.35 g
巻き芯	18.9	2.60 g

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	－	－
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	－	－

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	☐ 単一製品	☒ グループ製品	☐ 業界製品
	サイトタイプ	☒ 特定サイト	☐ 複数サイト	
	開示方法	☐ 特定値	☐ 加重平均値	☒ 代表値 ☐ 上限値
地理的範囲		グローバル		
複数製品/複数サイトを含む EPDにおける代表性の説明		製品の品番ごとに塗料の配合のみ若干異なるが、塗料の投入量ならびに当てはめる原単位が同一であるため、代表性は確保されている。 また、納入サイズは複数あるが、1㎡あたりに換算すると算定結果は同一となるため、代表性は確保されている。		
複数製品/複数サイトを含む EPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		製品の品番ごとに塗料の配合のみ若干異なるが、塗料の投入量ならびに当てはめる原単位が同一であるため、算定結果も同一となる。 また、納入サイズは複数あるが、1㎡あたりに換算すると算定結果は同一となる。		
複数製品EPDの説明		塗料配合が品番ごとに若干異なる11品番の製品をグループ製品として1つにまとめている。 また、納入サイズは品番ごとに一定ではなく、すべての品番に共通して複数サイズが存在するが、1㎡あたりに換算すると算定結果は同一となるため、サイズ違いもまとめて1つのグループ製品としている。		

> LCA関連情報

宣言単位		m ²
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)		225.93 g/m ²
基準フロー (機能単位を満たすために必要な製品数)		—
システム境界		☒ Cradle-to- Gate ☐ Cradle-to- Gate with options ☐ Cradle-to- Grave
LCAソフトウェア		MiLCA for EPD Ver3.2.0.0
LCIデータベース		IDEAv3.1
特性化モデル		気候変動：IPCC 2013 100年 / その他：LIME2
その他のバックグラウンドデータ		—
二次データ品質		GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。
一次データ収集拠点		製造委託先工場B (岐阜県揖斐郡)
一次データ収集期間		2023/01/01～2025/08/31
生物由来炭素の取り扱い		☒ 0/0アプローチ ☐ -1/+1アプローチ
電力契約に関する情報	有無	☒ 国や地域の平均的な電力ミックス ☐ その他
	種類	—
	購入日	—
	発行元	—

> 算定対象段階

資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■ : 算定対象 — : 算定対象外

> アロケーション

水の汲み上げに係る電力使用量および廃棄物・排水関連のデータについて、物理量アロケーションを行った。
 その他は、単位プロセスの積み上げにてデータ収集している且つ共製品は発生しないため、アロケーションは実施していない。

> カットオフ

カットオフは実施していない。

> システム境界

- ・PCRに基づき、対象のモジュールはA1～A3とした。
- ・GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められた項目をシステム境界外とした。
- ・時間的システム境界は100年とした。

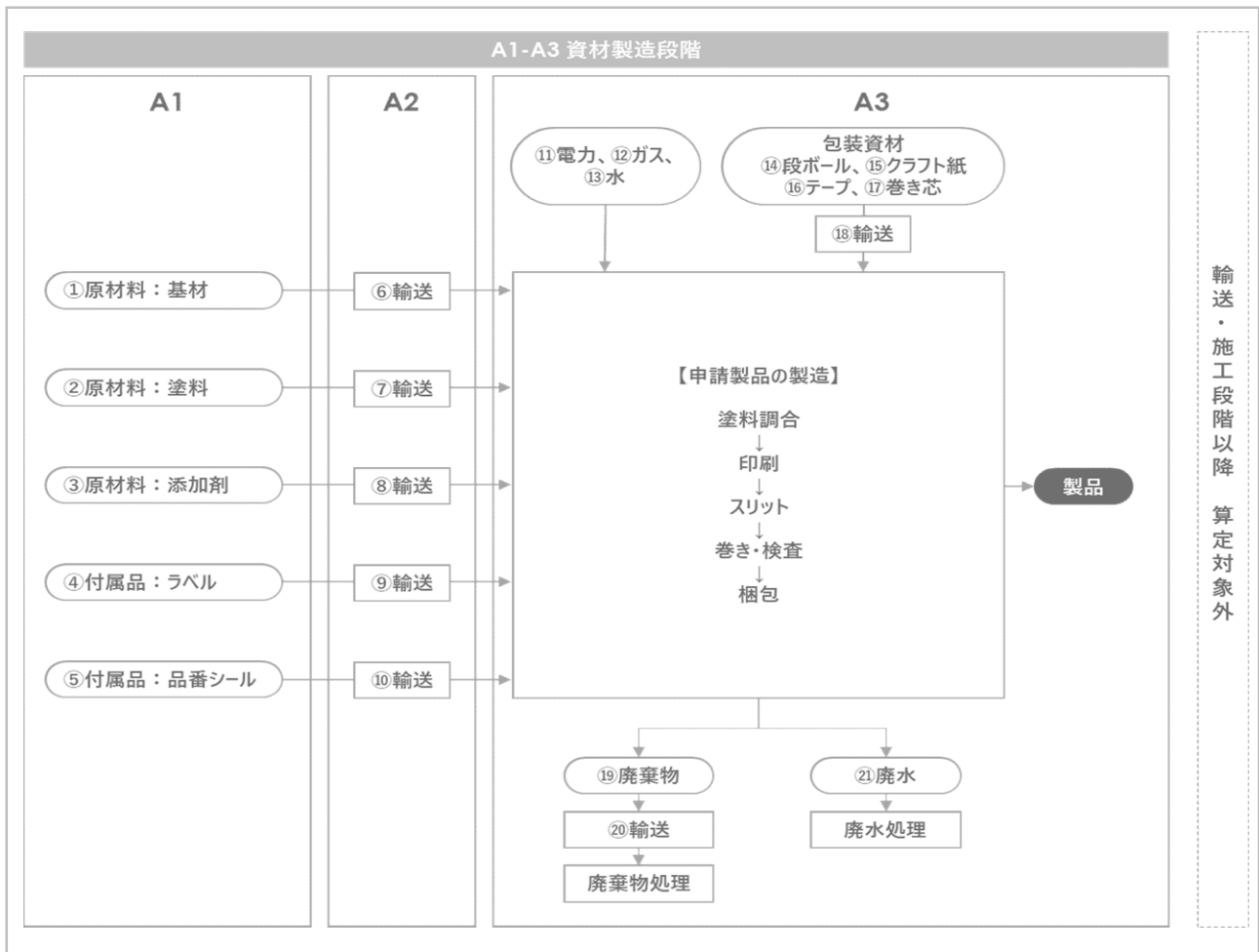
> シナリオ

モジュール	説明
A2	一次データの収集が困難な原材料の輸送プロセスについては、PCR Annex.Bのシナリオを用いた。
A3	一次データの収集が困難な包装資材・廃棄物の輸送プロセスについては、PCR Annex.Bのシナリオを用いた。

> 電力モデリング

2018年における系統電力（日本平均）のデータを用いた。

> ライフサイクルフロー図



●算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		【A1】原材料の調達	【A2】工場への輸送	【A3】製造			D 境界外
気候変動	kg-CO ₂ eq	1.25E+00	1.13E-01	3.89E-01			—
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.75E-07	1.27E-12	1.01E-08			—
酸性化	kg-SO ₂ eq	1.32E-03	1.18E-04	2.57E-04			—
都市域大気汚染	kg-SO ₂ eq	9.58E-04	4.39E-05	1.35E-04			—
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	4.05E-05	3.97E-07	1.15E-06			—
有害化学物質(発がん性)	kg-C ₆ H ₆ eq	1.80E-03	5.54E-07	4.46E-05			—
有害化学物質(慢性)	kg-C ₆ H ₆ eq	3.11E-05	3.70E-07	1.07E-06			—
水生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	1.23E-02	1.21E-08	2.48E-04			—
陸生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	1.97E-01	2.49E-07	2.97E-03			—
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	2.29E-03	1.13E-12	1.82E-05			—
土地利用(維持)	m ² /年	1.33E-01	2.00E-03	1.02E-02			—
土地利用(改変)	m ²	2.20E-03	3.99E-05	2.77E-05			—
資源消費	kg-Sbeq	2.34E-04	4.78E-07	2.05E-06			—

> ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		【A1】原材料の調達	【A2】工場への輸送	【A3】製造			D 境界外
非再生可能資源	kg	1.39E-01	9.53E-08	5.25E-03			—
非再生可能エネルギー	kg	5.94E-01	3.50E-02	8.68E-02			—
非再生可能エネルギー	MJ	2.56E+01	1.57E+00	3.80E+00			—
再生可能資源	kg	5.09E-01	2.45E-08	3.78E-03			—
再生可能エネルギー	MJ	1.55E+00	3.29E-05	1.81E-01			—
淡水の消費	m ³	9.10E-02	1.92E-06	8.88E-03			—

> 廃棄物関連情報

		【A1】原材料の調達	【A2】工場への輸送	【A3】製造			D 境界外
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00			—
無害廃棄物	kg	4.28E-03	8.27E-10	1.66E-03			—
一般廃棄物 埋立物	kg	1.37E-10	1.40E-18	4.65E-10			—
産業廃棄物 埋立物	kg	4.28E-03	8.27E-10	1.66E-03			—

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

> 出力フローに関する環境情報

		【A1】原材料の調達	【A2】工場への輸送	【A3】製造			D 境界外
再利用可能な部品	kg	—	—	—			—
リサイクル用材料	kg	—	—	—			—
エネルギー回収用材料	kg	—	—	—			—
廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率 ≥ 60%)	MJ	—	—	—			—
廃棄物の焼却 (エネルギー回収効率 < 60%)	廃棄物焼却処分量	kg	—	—			—
	回収エネルギー	MJ	—	—			—
廃棄物の埋立 (廃棄物の埋立により発生 する埋立ガスからのエネルギー 回収)	廃棄物埋立処分量	kg	—	—			—
	回収エネルギー	MJ	—	—			—

> LCA算定結果に関する説明

本算定では、外部から調達している基材（不織布）について、その製造に係る一次データの収集が困難であったため、二次データ（AIST-IDEAのデータ）を使用している。

また、一部シナリオによる算定を行っていることから、本算定結果には、不確実性が含まれることに留意されたい。

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

FSC認証取得製品（FSC® C002260）

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
酸化チタン	13463-67-7	安衛法57 条の2にかかわる施行令別表第9の通知対象物
珪藻土	68855-54-9	安衛法57 条の2にかかわる施行令別表第9の通知対象物
結晶性二酸化珪素（石英）	14808-60-7	安衛法57 条の2にかかわる施行令別表第9の通知対象物
酸化亜鉛	1314-13-2	安衛法57 条の2にかかわる施行令別表第9の通知対象物
非晶質二酸化珪素	7631-86-9	安衛法57 条の2にかかわる施行令別表第9の通知対象物

建材および建設製品からの危険物質の放出

—

●用語の定義

—

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO 21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products

●改訂履歴